

ぬくもり

2026年2月9日(月)

7年学年主任責任編集発行

届け 愛のメッセージ

今回のタイトル、マイバラードの最後の一節です。この曲は、先生自身が中学生の時も合唱コンクールで歌いましたし、先生が教員になってからの合唱コンクールでも何度も歌われてきました。それだけ古く、長く愛されている合唱の名曲です。合唱 PJ が「合唱 PJ だより3号」で、歌詞の意味や想いについて、『恥ずかしがらずに大きな声で歌うことで、「愛や信頼が世界に広がり、平和な世界を築く」というメッセージが込められています。』とみんなに伝えてくれました。先生は、このマイバラードをつくった松井孝夫さんのことについて取り上げたいと思います。松井さんは高校生の時、人生で初めて自分から社会に関わろうと一歩踏み出し、「何か人のためになることをやりたい」と考えました。そこで、車いすに乗った障がいを持つ方々と一緒に出掛けたり、過ごしたりするボランティア活動をしていました。松井さんはこの活動を通して、いろいろな人とコミュニケーションをとる中で「他者を理解する」ことの大切さや難しさを学びました。その経験から歌詞の最初にある「みんなで」は、「障がいを持つ人も、持たない人も同じ一人の人として、みんなで心を一つにして歌おう」という想いが込められています。また、中学校教員3年目だった松井さんが生徒の心をつかみきれず悪戦苦闘している中で、自分の生徒たちに「もっと心を開いて歌ってほしい」という願いも曲の中に込められています。特に2番の歌詞の「仲間がここにいるよ、いつも君を見てる 僕らは助け合って 生きていこう いつまでも」という部分では、友達関係のこといろいろと悩みを抱えている生徒の姿を思い浮かべながら、仲間を信じて前に進もうという強いメッセージが込められています。さて、このマイバラードをつくった松井さんの想い・メッセージはみんなにも当てはまると思います。世の中にはいろいろな想いを持った人がいて、みんな違います。しかし、合唱を通してその想いを一つにすることができれば、心が通い合い、素敵な世界を、平和な世界を築くことができる。そんな想い・メッセージをみんなには頭と体と心で理解して、自分たちだけの合唱を作り上げてほしいと思います。さあいよいよ今週金曜日が本番です。みんなの声を、想いを響かせろ！
届け 愛のメッセージ!!そして、届け 心ひとつハーモニー!!!!



素直さ・縁(仲間)・考え方(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!